

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 140 2022年4月16日 JR東労組

いま国内外で何が起きているのか！ 現実を直視しよう！！ part2

2022年2月24日に、ロシアがウクライナ東部ドンバス地方での「特殊軍事作戦」を実施すると発表してから、すでに1カ月半が経過しようとしています。多くの市民や労働者だけでなく、兵士の命も失われています。人の命を奪ういかなる行為も許されるものではありません。

世界で起きていることが今私たちの生活や今後に大きな影響を与えています。円安や物価の上昇、そして改憲議論など様々な影響は避けて通ることはできません。今起きていることから本質を考えていきましょう。

命を守るための施設は必要ですが…

大阪市の松井市長は、4月7日の記者会見で、ミサイル飛来時の避難施設として地下鉄「大阪メトロ」の99駅を指定しました。大阪府や堺市も地下鉄の駅を指定しました。その理由として、度重なる北朝鮮による弾道ミサイル発射やロシアによるウクライナ侵攻など、日本を取り巻く安全保障環境の緊迫度合いが増していることがあげられています。しかし、専門家によれば、日本の地下鉄は“シェルター”を想定して設計されたというわけではありません。地下鉄をミサイル飛来時の避難施設に指定することで、いたずらに不安を煽ることにつながるのではないのでしょうか。

火事場泥棒のような動きに注意！

4月8日の記者会見で岸田首相は、ウクライナ侵攻を受けた日本の防衛力について「あらゆる選択肢を排除せず検討し、スピード感をもって抜本的に強化していく」と明言しており、自民党も夏の参院選に向けた公約で防衛費をさらに増やすとしています。

この機に乗じて、これまで守ってきた憲法9条や非核三原則を変えようとする動きもあります。

**市民・労働者が犠牲になるテロにも戦争にも反対です。
私たちは何をなすべきか議論し合おう！**